



## 「雲外蒼天」の思いを大切に！！

全国的に新型コロナウイルス感染症感染者が急激に拡大しています。1月27日からは栃木県でも「まん延防止等重点措置」が適用されています。本校においても現状を把握しながら、絶えず予防対策と教育活動の見直しを図っていきたくと思います。

表題に記した「雲外蒼天」という言葉には、「努力して苦しみを乗り越えた先には、快い青空（すばらしい世界）が待っている」という意味があるそうです。学校の花壇のパンジーもこの時期、厳しい寒さを耐え抜いているからこそ、春には見事な花を咲かせるのだろうと思います。今のコロナ禍という現状は、私たちにとってまさに前代未聞の状況です。今、経験していることが将来、何らかの力や知恵となって生かせる日がくると信じたいと思います。いつの日か、子どもたち、保護者の皆様そして地域の皆様とともに「快い青空（すばらしい世界）」が見られるように歩みを決して止めることなく、一步一步前へ進んでいきたくと考えています。また、一人一人の子どものもつ可能性を最大限に伸ばせるような支援を心がけていきたくと思います。

2月は、「逃げる2月」とも例えられ、月日の経つのがとても早く感じられます。今年度も残りわずかな期間とはなりましたが、年度のまとめと振り返りを確実に行っていきたくと思います。そして、新年度に向けての抱負がもてるように教職員一丸となって子どもたちの支援に尽力していきます。今後も皆様方の御理解と御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



### ☆全児童がタブレットを毎日持ち帰っています。☆

現在、町内においても新型コロナウイルス感染症感染者が増加しています。本校で陽性者が出た場合には、「学級閉鎖」や「学校全体の臨時休業」等の措置をとる可能性があります。そこで急遽そのような状況になった場合でも、リモートによる学習支援ができるようにと考え、全児童が毎日タブレットを持ち帰るようにしました。子どもたちにとっては、持ち帰る荷物が増えてしまっているのですが御理解いただきますようよろしくお願いいたします。また、タブレットの扱いについては、学校でも適宜指導していますが、各御家庭でもお子さんの活用の様子について気を付けて見ていただきますようあわせてお願いいたします。

### ☆Stop! コロナ差別 ～優しさと思いやりの心を～ ☆



新型コロナウイルス感染症に感染する可能性は誰にでもあります。だからこそ、「優しさと思いやりの心」をもって行動することが大切なのではないかと思います。私たち大人もそして子どもたちも優しさといわりのある態度でお互いに接していきけるように心がけていきたいものです。

「優しさと思いやりの心」を大切にしながら、現在の難局を乗り越えていきたくと切に願っています。

## ☆本を寄贈して いただきました! ☆

やよい整骨院（那須塩原市）の院長様及び  
県建設業那須支部青年の会の皆様より子ども  
たちにと本を寄贈していただきました。SDGs  
に関する絵本そして建設業に関連する写真集  
等をいただきました。これからの学びに有効  
に活用していきたいと思ひます。



～ありがとうございました!～

## ☆力作ぞろい! 校内書初展☆

1月17日（月）～21日（金）まで校内  
書初展が本校体育館で実施されました。今年  
のテーマは、「窓」です。新年の抱負も全学  
年展示しました。ICT 機器の普及で、文字を  
書くことが少なくなりつつある現代ですが、  
心を込めて文字を書くことの大切さについて  
も子どもたちには伝えていきたいと思ひま  
す。



## 《お知らせ》

一斉メールでもお知らせしましたが、県の「まん延防止等重点措置」の適用に伴い、  
2月に予定していた行事等については、現時点で以下のようになっています。なお、  
今後も新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、さらに変更があるかもしれ  
ません。その際には、一斉メールにてその旨お伝えいたします。

2月3日（木）新入生保護者説明会	延期（期日未定）します。
2月7日（月）スキー教室（1～3年）	中止します。
2月9日（水）学習成果発表会	延期（期日未定）します。

※学級での活動を基本とし、縦割り班での清掃・集会活動・クラブ活動・昼休みの図  
書室利用等、異学年との交流となる活動は休止します。

※スキー教室においては、たくさんの方々に指導者及び補助支援者として御協力いた  
だく予定になっていました。早くからお仕事のスケジュール等調整をしていただい  
たのではないかと考えております。スキー教室直前での中止の決定、心よりお詫び  
申し上げます。

## 「命の週間について」 ～2月14日(月)～21日(金)～



那須町では、2月の第3週に「命の週間」を設けています。「命の教育」とは、生  
きていることに喜びを見い出し、自らの命を大切にするとともに他者の命も同様に  
尊重する心を育む教育です。

学校では、各教科の学習や各種行事等の教育活動全体で取り組む道徳教育を軸に  
「命の教育」に取り組んでいます。自分の存在の大切さを認識している子どもは、友  
達の存在の大切さも認識できると思ひます。自他の存在＝「命」の大切さを実感で  
きる子どもたちとなるよう支援していきたいと思ひます。



